

■特別会計の決算の状況

会計区分	歳入	歳出	差引	
国民健康保険	13億 563万円	12億6,339万円	4,224万円	
簡易水道	5億 854万円	4億9,369万円	1,485万円	
農業集落排水	2億 108万円	1億9,427万円	681万円	
後期高齢者医療	7,142万円	6,778万円	364万円	
国保葛巻病院	収益的収支	9億1,858万円	8億6,540万円	2,019万円
	資本的収支	8億3,553万円	8億6,852万円	

■基金および地方債現在高の状況

■基金現在高（積立金）

基金区分	年度末現在高	年度中増減
財政調整	9億2,292万円	18万円
町債減債	6億1,078万円	19万円
地域づくり振興	7億9,498万円	2,824万円
公共施設等整備	26億5,339万円	4億4,035万円
その他	2億1,477万円	△ 259万円
全基金合計	51億9,684万円	4億6,637万円

■地方債現在高（借入金）

会計区分	年度末現在高	年度中増減
一般	62億6,801万円	6億5,733万円
簡易水道	11億8,171万円	1億5,139万円
農業集落排水	14億5,929万円	△ 5,326万円
国保葛巻病院	8億7,722万円	7億7,860万円
全会計	97億8,623万円	15億3,406万円

■財政健全化法に基づく指標の公表

平成27年度決算における法に基づく各指標は、いずれも定められている基準を下回り、財政の健全化が保たれています。

■健全化判断比率

各指標（早期健全化基準）	H27	H26	比較
実質赤字比率（15%）	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率（20%）	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率（25%）	5.8%	6.4%	△0.6%
将来負担比率（350%）	なし	なし	—

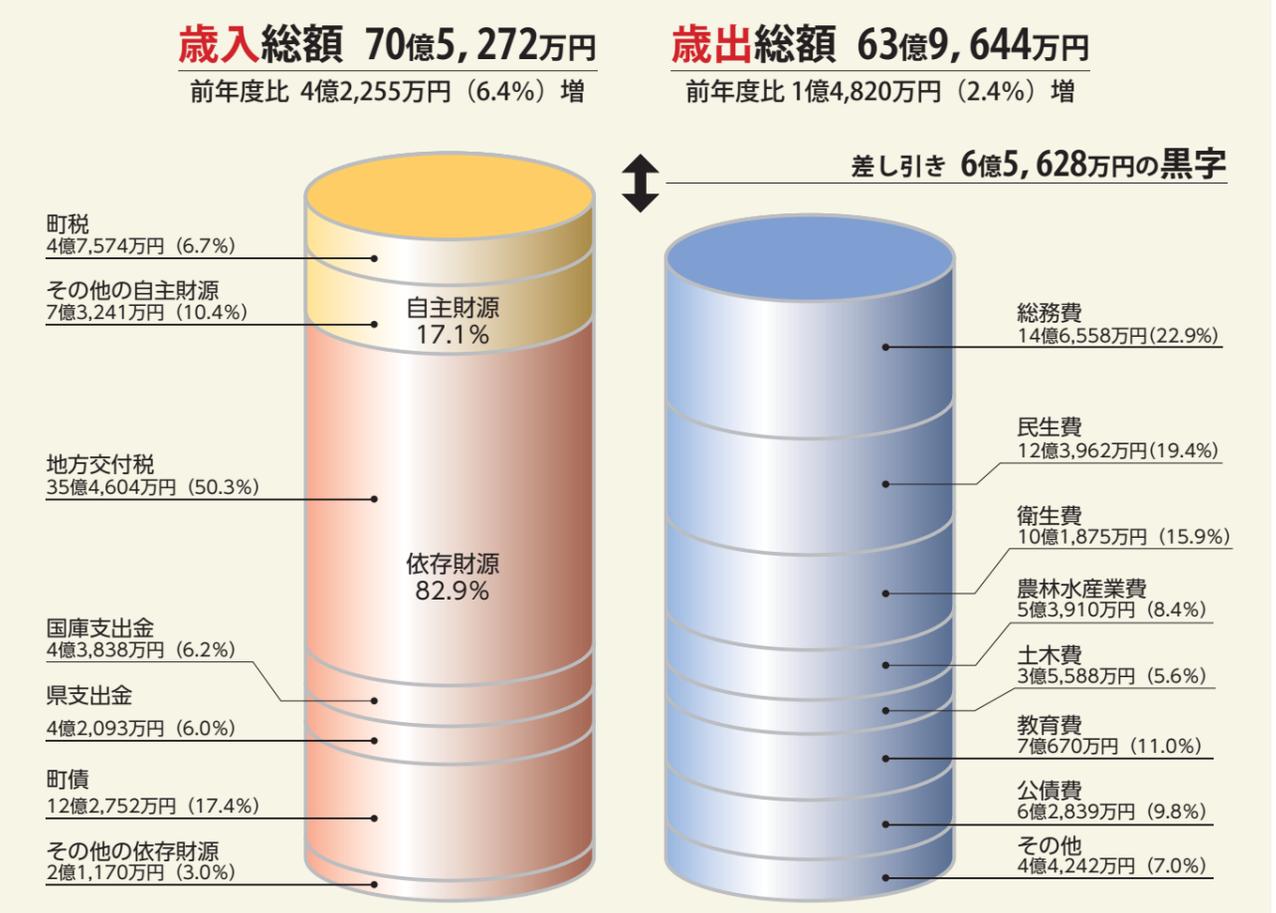


総合運動公園多目的グラウンドがリニューアル
＜高い競技性能を備えた本格的な競技場に＞

■一般会計64億円の主な使いみち

- 子育て環境の充実
 - 乳幼児・児童生徒の医療費助成に…1,146万円
 - 子育て支援ハンドブックの作成に…22万円
 - マタニティライフサポート金に…155万円
- 福祉の充実
 - 養護老人ホーム葛葉荘の改築に…4,610万円
 - 低所得者などへの商品券の交付に…1,046万円
- 生活環境の整備
 - 住宅の水洗化の支援に…763万円
- 防災対策、消防・救急体制の充実
 - 消防ポンプ自動車の更新に…4,147万円
 - 消防団の活動用装備品の整備に…189万円
 - 消防団員の確保対策に…190万円
 - 自主防災隊の装備品の整備に…167万円
- 地域エネルギーの活用
 - 公共施設への太陽光発電設備などの設置に…1億3,501万円
 - 森の館ウッディへのペレットボイラーの導入に…1,977万円
- 農業の振興
 - 新しくずまき型畜産体制の推進に…371万円
 - 粗飼料生産基盤の除染対策に…8,759万円
 - 生産管理用機械や育成舎などの導入支援に…3,439万円
 - 全日本ホルスタイン共進会への出品支援に…85万円
 - 乳製品加工施設整備に向けた調査検討に…130万円
 - プラトー、森の館ウッディの施設修繕に…367万円
 - 農業委員の海外視察研修に…180万円
- 林業の振興
 - 森林の保全対策に…1,928万円
 - 木材加工施設などの整備支援に…2,850万円
- 商工業の振興
 - 中小企業向け融資制度の利子補給に…189万円
 - プレミアム付き商品券の発行に…999万円
 - 雇用促進補助金に…1,299万円
 - くずまき型持続可能な産業づくり支援事業に…150万円
 - 商店の設備更新支援に…776万円
- 観光の振興
 - くずまき「ミワク」の町交流事業に…146万円
 - グリーンテージの長寿命化に向けた調査検討に…76万円
 - 観光ガイドブックなどの作成に…417万円
- 教育の充実
 - 江刈小学校の改築に…7,563万円
 - 小屋瀬小・江刈中校舎の耐震化に…1億281万円
 - 葛巻高校の山村留学事業に…254万円
- 生涯スポーツの推進
 - 総合運動公園多目的グラウンドの改修に…1億9,084万円
 - 総合運動公園野球場の改修に…485万円
 - 希望郷いわて国体実行委員会への活動支援に…130万円
- 交流・通信ネットワークの整備
 - 携帯電話の鉄塔設置に…4,023万円
 - 公衆無線ネットワークシステムの整備に…578万円
 - 町道茶屋場田子線の道路改良に…1億524万円
 - 町道葛巻浦子内線の道路改良に…1,270万円
 - 町道町裏線の道路改良に…1,055万円
 - 町道愛羅瀬線の道路改良に…2,365万円
- 交流・連携の促進
 - 定住促進住宅の整備に…7,880万円
- 協働のまちづくり
 - 地区センターの改修に…1,798万円

■一般会計の決算の状況



山村のモデル実現を目指し
一歩先行くまちづくりへ101億円

平成27年度の決算が町議会9月定例会議で認定されました。決算の概要からみた町の財政状況についてお知らせします。

町は、町民の皆さまが納めた税金や国・県からの交付金、町債（借入金）などを財源に、山村のモデルとなるまちの実現に向けて、独創性の高いさまざまな事業に取り組みました。

一般会計の歳入総額は70億5,272万円、前年度に比べて4億2,255万円（6.4%）の増となりました。同じく歳出総額は63億9,644万円、前年度に比べて1億4,820万円（2.4%）の増となり、歳入、歳出とも前年度を上回る決算額となりました。

性質別にみると、人件費や公債費などの義務的経費は、前年度と比べて19,044万円（1.0%）の増となりました。建設事業などの投資的経費は、前年度比で4億4,499万円（39.4%）の大幅な増となりました。主なものは、清掃センター大規模改修事業3億7,476万円、総合運動公園多目的グラウンド改修工事1億9,084万円、公共施設再生可能エネルギー等導入工事1億1,454万円などとなっています。

5つの特別会計の決算総額は37億5,305万円となり、前年度比2億8,646万円（8.3%）の増となりました。これは、病院建設事業が本格化したことによる病院会計資本的収支の増によるものです。一般会計と特別会計を合わせた決算総額は101億4,949万円となり、前年度を4億3,465万円（4.5%）上回りました。

平成27年度

決算報告